

わにのさと

自分らしく、自分の人生を生きる

目次

- 校長先生のメッセージ
- PTA活動報告
- 演劇鑑賞会報告
- 保護者向け講演会感想
- PTA会長のあいさつ

和邇小学校を卒業する73名の皆さんは、自分の良いところ、相手の良いところを認め合い、この6年間で切実琢磨しながら生活してきました。学校生活の随所で見られた、人へのやさしい心遣い、思いやり、そして、あきらめずに最後までやりきる姿勢は、私にとって大きな励みとなるものであり、和邇小学校の誇りでした。

そして、そんな6年生と共に毎日生活した在校生の皆さんは、先日の「6年生を送る会」への取組に代表されるように、想いをめぐらし、心を込めて準備と本番に向かい、立派に成功に導いてくれて、卒業生の巣立った後の和邇小学校を引き継いでくれる力強さを感じました。

最近、ウェルビーイングという言葉をよく聞くようになりました。「持続的な幸せ」を意味するようです。わが子に「自分らしく幸せに生きてほしい」と思うのは、親の共通の願いであると思います。AI(人工知能)時代を生きる子どもたちには、AIに誘導されない、自分としての人生を選択できる力が必要とされています。ありのままの自分を受け入れ、うまくいかなくても、様々なことに挑戦する、時には自分の弱さをさらけ出し、苦しい時やつらい時には周囲と気持ちを分かち合う、そんな姿を目指したいと思います。

PTAの役員の皆様には、令和の時代に即したPTA活動の在り方を検討され、和邇小学校の子どもたちのためにお力添えをいただきましたこと、心より感謝申し上げます。過去の前例にとらわれることなく、今を生きる子どもたちのために、今後とも温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 澤村幸夫

THANK YOU

PTA活動1年

「ベルマーク活動」

ベルマーク活動にご協力頂きありがとうございました。

お陰様で今年度はクラスに一つずつ「ドッチボール」を購入することができました。今後ともご協力の程よろしくお願い致します。



「150周年記念品」

わに小学校生誕150周年に際して、我が校、愛されキャラクターわにっこりコラボ「150周年学習帳」を作成し、2月16日、記念日に贈らせて頂きました。




会長オリジナルデザイン
歴史や昔の写真も載ってるよ

演劇鑑賞会

「オズの魔法使い」

2022年11月24日には少人数制、3回公演2学年づつ分けて、夢団さん「オズの魔法使い」を体育館にて鑑賞することができました。





子どもを守るために、親にできること


「性・生命（いのち）の教育」

わに小学校PTA保護者向け講演会


年末に実施させて頂きました、保護者向け講演会を、動画配信して頂き、そちらををご覧になった方の感想をご紹介します。

子育ては育ててるつもりで、育ててもらってる事が多く、大人の私たちこそ、学びが必要なんだと思いました。こちらの頂きました感想文の中にもたくさんのヒントがあるように感じました。何か学ぶ事で、また循環が生まれて、何かの助けになったり、保護者向けの講演会が、子供たちと大人たちの良きものになっていければ嬉しいなと思いました。たくさんの方にご協力頂き、ありがとうございました。


動画配信をご覧頂いたご感想



“確かに保育園くらいで、今回のようなお話が聞ければよかったと思いました。うちは高校生と小学生の兄弟ですし、SNSが発達してる中なので、正直子供たちの発言に驚かされる事があります”

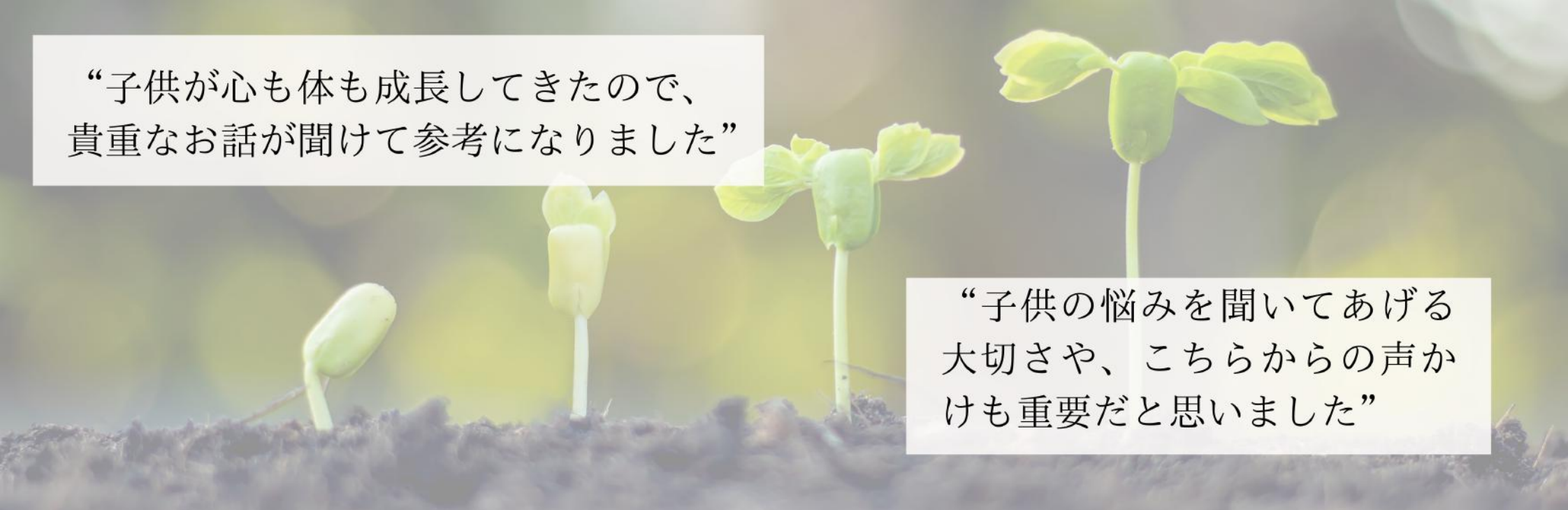


“大事な話だなあと、思っていました。が、なかなか子どもと話すことができないでいました。今回、お話を聞いて子どもと話してみようと思いました。学校の授業としても、取り上げてもらいたいなあともし思いました”





“ハグのお話に感動しました。私も子どもが幼児の頃によく問題を起こしてとても悩み、保育園の先生にハグしてあげて。と言われたことをきっかけに毎日ハグをしてきました。いろいろと問題を起こすので、お話の中のお母さんと同じで、子どもをハグしたくない日もありました。でも毎日続けていると、子どもがとても穏やかになり、お友達とのトラブルもなくなりました。性の話も幼児の頃から絵本を使って伝えています。先日、息子が年上の男の子に、性の話をされたと打ち明けてきました。男の子ってな、白いのがでてくるんやで！！と言われたそうですが、小さい頃に絵本で見た内容を思い出して、それって、せいしのことかな？と理解し、その場で驚かず落ち着いて対応できたと話してくれました。普段から親が子どもたちとまっすぐ向き合って、落ち着いて性の話もそうじゃない話もたくさん会話をしていきたいと、前向きな気持ちになれました。講演会当日は用事があり行けませんでした。素敵な企画をしてくださりありがとうございました。配信もありがたいです！”



“子供が心も体も成長してきたので、
貴重なお話が聞けて参考になりました”

“子供の悩みを聞いてあげる
大切さや、こちらからの声か
けも重要だと思いました”

“今回、性についてのお話を伺い、日本は性教育が遅れていること。親も間違った認識でいること。子どもに話すのはその年齢に合わせて早ければ早いほど良いということ。性について、改めて向き合う事ができ、今回山本さんの内容盛りだくさんで身になるお話を聞けて本当に良かったです。そしてこういった機会を作って下さったPTA役員の方々に感謝です。定期的にお話を聞きたいです。何度も何度も繰り返し繰り返し教えていただき、こどもへ教え、性をもっと身近に考えていける環境になることを望みます。こどもたちが恥ずかしがらずに相談できるように、誤った知識で誤った方向へ行かないように親も一緒に情報を共有、アップデートしていきたいです。またこういった配信をしていただき、より多くの方へ広がり、興味を持ち、新たに知ったり、再確認できたり、子どもと話すいいきっかけとなったりと良いことづくめだなと思いました”

感謝

～1年間ありがとうございましたPTA役員一同～

2022年度の終わりに際して

この1年間は、頻繁に学校に足を運ぶ機会をいただきました。今年PTA役員をやれて本当に良かったな、と思っています。

世の中も学校も徐々に以前の様子を取り戻してきて、PTAも、いくつか行事を行うことができました。夏のお掃除と冬の講演会にご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。皆さまの存在に希望を感じました。また、2月16日の和邇小学校150歳の記念日には、コロナ以降初めて、全校児童が集まって集会を開くことができた、と先生方が嬉しそうに話されていたことが印象的でした。ようやくここまで来たと言う思いがしました。

ここで突然ですが、「ありがとう」の反対の言葉は何でしょうか？いつだったか、授業参観で先生から保護者に投げかけられた質問です。当時はまったく答えられませんでした。

ありがとうの反対とは、有り難いの反対、つまり答えは「当たり前」でした。なくなってみて初めてありがたみがわかる、とはよく言いますが、新型コロナという現象はまさにそれを地で行くものでした。そして皮肉なことに、新型コロナによって、当たり前が有り難いことになってしまったわけです（ややこしい）。変わらないものなんて何一つないのだ、と思い知らされました。

そんなコロナ下で、子どもたちはどんな風にかこの世界を見たのでしょうか。きっと私たちには想像できない、多彩な生きる力を身につけたことでしょうか。これから先、当たり前がまた当たり前に戻っても、さらに世界が大きく変化しても、子どもたちはたくましく生きていってくれると期待しています。

令和4年度PTA会長 渡邊葉子